

表1 学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)～(i)との対応

基準1(2)の 知識・能力 学習・教育 到達目標		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
(A)	A-1	◎			○			○		
	A-2		◎		○			○		
(B)				◎	○			○		
(C)	C				◎			○		
	C-1				◎					
	C-2				◎					
(D)	D-1				○		○	◎		
	D-2				○		◎	○		
(E)	E-1				○	◎				
	E-2								◎	
	E-3									◎

生物資源学プログラム学習・教育到達目標

- (A) 1) 生物資源に関わる技術者として、その技術に対する社会的ニーズの認知に必要な基礎的能力を身につける。
2) 生物資源の利用にあたって、多面的な価値観をもって科学技術が自然や社会に与える影響を考え、責任ある方向づけができる基礎的な素養を身につける。
- (B) 生命科学を幅広く理解し、応用するために必要な基礎学としての数学、自然科学および情報技術を身につける。
- (C) C：生物資源を活用した農業的生物生産ならびに工業的生物生産の専門技術に関する知識を修得する。
C-1：生物学に関する高度な知識と、それを生物資源の生産や生物資源をとりまく環境の改善、ならびにそれらの研究開発に応用するための専門的能力を修得する。
C-2：化学、食品学や微生物学に関する高度の知識と、それを化学品や食品の生産・製造・品質管理やそれらの研究開発に応用するための専門的能力を修得する。

- (D) 1) 急速に変化する生命科学とそれに関わる技術に対応するために必要な情報収集能力を身につける。
- 2) 自分の考えを日本語で論理的に表現し議論する能力、及び外国語によるコミュニケーションを行うための基礎能力を身につける。
- (E) 1) 生命科学に関わる技術的な課題を設定する能力を身につける。
- 2) 限られた条件の下で計画的に仕事を進め技術的な課題を解決する能力を身につける。
- 3) 課題解決に向けてチームで互いに協力して仕事をする能力を身につける。